

がんプロセス系統講義 2024年度実施日程

基礎 専門	必修 選択	対象年次	授業科目名	担当教員	開講日	曜日	開講時間	場所	オンデマンド 配信	がん医療 研修会	講義タイトル	講義内容	備考
専門	選択	1-4年次	泌尿器外科学	浮村 理 教授 上田 崇 学内講師	5月13日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	難治性精巣腫瘍に対する集学的治療	精巣腫瘍の診断・治療	
その他		1-4年次	がんゲノム検査入門	高山 浩一 教授 岩破 将博 助教	5月23日	木	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	がんゲノム検査入門	2019年より開始された、がんゲノムプロファイリング検査を中心に講義する。検査の現状と課題、今後の動向を講義し、結果解釈など実際の検査時に必要な知識を概説する。	
基礎	選択	1-2年次	免疫内科学	石川 剛 講師	5月31日	金	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	がん免疫療法の臨床と課題	免疫チェックポイント阻害剤(ICI)について、臨床で注意すべき点や副作用管理およびICI以外の免疫療法の開発状況についても解説する。	
専門	必修	1-2年次	血液内科学	志村 勇司 准教授	6月6日	木	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	多発性骨髄腫に対する最新治療	多発性骨髄腫に対する標準治療、合併症、予後、最新治療について概説します。	
専門	選択	1-4年次	消化器内科学	吉田 直久 講師	6月14日	金	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	大腸癌に対する診療、検診、内視鏡診療および抗がん剤治療	大腸癌に対する診療全般について最新の情報を交えて行います。	
その他		1-4年次	臨床統計 (※)	手良向 聡 教授	6月18日	火	18:00～19:30	ハイブリッド (第2講義室+ Zoom)	なし	×	医学研究における統計学の役割	医学研究において頻度流統計学(主に統計的仮説検定、P値、信頼区間)を正しく利用するための心得について解説した上で、将来主流になるであろうベイズ流統計学の基本的考え方と可能性を解説する。	博士総合コース合同 「医学研究方法概論」
専門	選択	1-4年次	消化器外科学	窪田 健 准教授	6月19日	水	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	胃癌手術・最近のトピックス	開腹手術から腹腔鏡、そして近年はロボット支援手術が急速普及しつつある。それぞれの手術のメリット・デメリットを胃癌手術の歴史的背景、エビデンスをもとにお話します。	
専門	選択	1-4年次	内分泌・乳腺外科学	阪口 晃一 准教授	6月24日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	乳癌の薬物療法	乳癌の周術期・再発の各サブタイプごとの治療方針・薬物療法をエビデンスに基づいて解説します。	
専門	選択	1-4年次	呼吸器内科学	高山 浩一 教授	6月25日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	進行期肺癌の分子標的治療	進行肺癌の治療薬剤を選択する上でドライバー遺伝子の探索は必須である。その中から今回はEGFRおよびHER2遺伝子異常に対する分子標的治療の進歩について概説する。	
専門	選択	1-4年次	小児科学	家原 知子 教授	7月1日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	なし	○	小児・AYA世代がん(仮題)	小児・AYA世代のがんについて診療、課題、最新の話題について概説する。	
基礎	必修	1-2年次	分子標的予防医学	武藤 倫弘 教授	7月9日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	がん予防臨床介入試験の立案とその実際	がん化学予防剤の開発におけるABCを学び、将来自分でも立案できる素地を作る。	
専門	選択	1-4年次	呼吸器外科学	井上 匡美 教授	7月17日	水	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	肺癌外科治療のトレンドと私見	近年、局所進行肺癌に対する周術期治療と早期肺癌に対する縮小手術のエビデンスが確立されているが、これらの新しい標準治療は患者にとって真に有益なのか、改めて考察し私の思うところを述べたい。	
専門	選択	1-4年次	脳神経機能再生外科学	橋本 直哉 教授	7月23日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	WHO脳腫瘍分類2021と標準治療	分子診断名を先駆けて取り入れたWHO脳腫瘍分類2016から2021への流れを概説し、代表的脳腫瘍の標準治療を紹介する。	
専門	必修	1-2年次	包括的緩和医療学	天谷 文昌 教授	9月2日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	疼痛治療学と緩和医療学	緩和医療・緩和ケアの概念・歴史、日本での緩和ケアの現状と課題について概説する。また、がん患者を中心に全人的苦痛に対する緩和の実際を、特にがん性疼痛の緩和を中心に説明する。	博士総合コース合同 「統合医科学概論」
基礎	必修	1-2年次	病態分子薬理学	榎村 敦詩 教授	9月18日	水	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	抗腫瘍薬の開発と動向	進歩および適応拡大の著しい抗腫瘍薬について、作用機序や副作用などの特性に着目し学習する。	
専門	選択	1-4年次	女性生涯医学	森 泰輔 教授	9月26日	木	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	卵巣がんの診断・治療・予防アプローチ	卵巣がんに対する診療の実際と今後の展望について、最新の情報を交えて解説する。	
その他		1-4年次	臨床統計 (※)	手良向 聡 教授	10月9日	水	18:00～19:30	ハイブリッド (第2講義室+ Zoom)	なし	×	予後因子解析と臨床予測モデル構築	予後リスク因子解析は観察研究等のデータから重要な情報を得る基本的手法の1つである。また、患者をリスクグループに分類する臨床予測モデルは臨床に有用なツールとなり得る。本講義では、予後リスク因子解析および臨床予測モデル構築の方法論を基礎から解説する。	博士総合コース合同 「統合医科学概論」
基礎	必修	1-2年次	人体病理学	小西 英一 病院教授	10月11日	金	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	なし	○	がんの病理組織診断(仮題)	病理組織標本作製から診断法、評価法をわかりやすく解説する。	
その他		1-4年次	腫瘍循環器病学: Cardio-Oncology	山野 哲弘 講師	10月15日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	腫瘍循環器病学: Cardio-Oncology	腫瘍循環器病学の疫学から見た必要性、及びがん治療関連心筋障害について概説する。	
専門	選択	1-4年次	皮膚科学	浅井 純 講師	10月21日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	がん薬物療法による皮膚障害とそのマネジメント	がん薬物療法で生じる皮膚障害とその対処法について概説する。	
専門	選択	1-4年次	運動器機能再生外科学	寺内 竜 講師	10月30日	水	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	肉腫に対する治療戦略	肉腫に対する治療についての考え方について講義します。	
基礎	選択	1-2年次	分子生化学	栗原 康通 准教授	11月8日	金	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	エピジェネティクスからみた腫瘍発生病態	腫瘍の発生や病態に関与するエピジェネティクス機構の動態や破綻について概説する。	
専門	選択	1-4年次	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	平野 滋 教授	11月12日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	頭頸部癌の診断と最新の知見	頭頸部癌の診断・治療についてガイドラインに沿って解説する。最新の医療(光免疫治療など)について紹介する。	
基礎	選択	1-2年次	ゲノム医学	田代 啓 教授	11月19日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	ゲノム情報の意義取扱い	免疫チェックポイント阻害療法や光免疫療法や化学療法の有効性を含むあらゆる表現型の個人差にゲノムが寄与している。	
専門	必修	1-2年次	集学放射線診断治療学	鈴木 弦 准教授	12月2日	月	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	高精度放射線治療	集学的治療における放射線治療の役割について主に高精度放射線治療を解説する。	
基礎	選択	1-2年次	分子病態感染制御・検査医学	稲葉 亨 病院教授	12月10日	火	18:00～19:30	Zoomによる オンライン講義	あり	○	フローサイトメトリー検査の基礎と臨床応用	がんの基礎研究や実地診療に必要なフローサイトメトリーのminimal essenceについて概説する。	

(※)「臨床統計」は、いずれかの講義に出席してください。